

学校の教育目標	
◎よく考え すすんで学習 ○強いからだ やりぬく心 ○人に親切 仲よく協力 (◎＝今年度の重点)	
目指す学校像(ビジョン) 例)学校像, 教員像, 児童・生徒像	
目指す学校像【「つくる」「つながる」「つたえる」学校】 ◇「つくる」……児童が変化する社会を主体的に生きるために必要な資質・能力を育成する教育活動を創造する。 ◇「つながる」…①児童の学びと成長のために、教職員・児童・保護者・地域がつながる。 ②互いに学び合い、助け合い、高め合いながら教育活動を進められるように、教職員同士がつながる。 ◇「つたえる」…透明性の高い学校を目指し、教育活動の取組を積極的に保護者、地域に発信する。	
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	○全学年において、児童は落ち着いて学習に取り組んでいる。国語や算数など、将来の進路選択で必要となる教科の基礎基本を児童全員に確実に身に付けさせ、変化する社会を主体的に生きていけるようにすることが課題である。 ○明るく素直な児童、学校教育に協力的な保護者、児童を温かく見守ってくださる地域、組織を通して教育活動に専念する教師など、本校は人的環境に恵まれている。児童の健やかな成長のために、学校と保護者・地域とのつながり、教職員同士のつながりをより一層強化していくことが課題である。 ○保護者・地域の方々から信頼される開かれた学校づくりのために、学校だより・ホームページ・安全安心メールなどの学校からの情報発信を行うとともに、クラスルームでの学級・学年の特色を生かした情報の発信の定着が課題である。

教科	目指す学校像(ビジョン)を基にした 育成したい資質・能力	資質・能力を育成するための具体的取組
国語	知漢字や言語事項などの基礎的な知識、技能。 思根拠をもとに伝え合う活動を通して、文章を読み深める力。 主すすんで本に親しみ、自身の考えをもって学習に参加するとともに、心情豊かに読み深めようする態度。	・漢字ドリルを使った反復練習に加え、既習漢字を使った熟語を調べる活動を通して、日常の文の中で使えるようにする。 ・友達と意見交流を通して、理解や考えを深められるよう学習計画を立てる。 ・教員や司書による本の紹介を通して児童が幅広いジャンルの本と出会う読書環境を整える。課題設定や発問を考え、自分の考えをもたせるよう工夫する。
社会	知地理的環境や歴史や文化、現代社会の仕組みや働きについて理解する力。 思社会的事象について調べ表現する力。 主学習したことを生かして社会への関わり方を選択したり・判断したりする態度。	・板書、発問、提示資料、ワークシートを工夫する。 ・映像教材や現物資料を提示し、社会的事象を身近に感じられる授業展開をする。 ・地図帳や地球儀、統計や年表などを積極的に活用することで、資料から読み取る力を高め、情報の取捨選択ができるように指導する。 ・学習したことをもとに、社会的事象について考えたことを発表したり話し合ったりする時間を多く設ける。
算数	知数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、正確に計算したり作図したりする力。 思問題に対して見通しをもち、筋道を立てて考え、自分の考えを分かりやすく表現する力。 主数学的活動の楽しさや良さに気づき、学習したことを生かして、すすんで問題を解決しようとする態度。	・年間を通して学習の始めや朝学習、宿題において、数の合成や九九など計算、コンパスや分度器を使用した作図の基礎となる内容の習熟を図る。また、単元に先んじて系統的に関連する学習を復習する(レディネス)。 ・既習事項を想起できるよう発問や板書を工夫する。言語活動を重視し、児童に説明させたり、友達の考えを聞いたりする機会を多く設ける。また、多角的な考え方を認めるとともに、その中でもより良い考え方をを見つけるなど、数学的な考え方の良さを実感できるようにする。 ・算数を日常の事象と結び付ける活動や具体物を扱った操作的・作業的な活動、実際の数や量の大きさを計測する体験的な活動を重視した学習計画を立てる。
理科	知観察、実験などに関する技能を身に付け、自然の事物・現象について理解する力。 思観察、実験などの結果をもとに、問題を解決する力。	・活動前に、何を調べるために行う実験、観察なのかを考えたり、予想を立てて話し合ったりする時間を設定する。 ・学んだことが知識として定着するように、実験後、教科書や映像資料で用語等を確認し、練習問題を解く時間を確保する。 ・結果や考察を自分の力でまとめることができるようよいノートを例示し適宜ノート指導を行う。

	主自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度。	・実験の予想を立てる際には自分の生活体験を想起させ、関連付けられるように指導する。
生活	知活動や体験を通して、自分、身近な人々、社会、自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付く力及び、生活上必要な習慣や技能。 思身近な人々、社会、自然を自分との関わりで捉え、自分や生活について考え、表現する力。 主身近な人々、社会及び自然にすすんで働きかけ、意欲的に学ぼうとする態度。	・児童の身近な環境で直接体験できるような学習計画を立てる。 ・活動場面で、生活上必要な習慣や技能を身に付ける機会を設定する。 ・児童が、自分と対象との関わりを常に意識して活動できるような言葉掛けを工夫する。 ・言葉、絵、動作、劇化など、多様な方法によって表現活動を行う。
音楽	知リズムや音符など音楽を形づくっている要素を理解し、それらを生かしながら音楽表現をする力。 思音楽への思いや願いをもち、音楽のよさを感じ取りながら表現に生かそうとする力。 主自分や友達の演奏のよさを認め、主体的に音楽活動しようとする態度。	・音楽の要素を感じたり表現したりする活動を継続的に取り入れ、理解したことを表現に取り入れていくことを意識付けるようにする。 ・題材に即しながら系統的な学習を適宜設定し、児童が思いや願いをもちながら表現できるようにする。 ・友達と学び合うことのできる声掛けや環境づくりを行うとともに、体験的な活動を重視した学習計画を工夫する。
図画工作	知材料や用具を工夫して使い、創造的につくったり表したりする力。 思材料や主題から造形的な美しさを感じ取り、想像したことを表す力。 主自分や友達の作品のよさを認め、主体的に造形活動しようとする態度。	・授業のUD化を行い、1時間で達成する目標を焦点化し、道具の使い方を図や拡大模型で示すことで、表したいことを形にするための技能を身に付けさせる。 ・児童が思い通りにいかず行き詰っているときは、すぐに答えを与えず、使うことができる道具や手段を共に考え、失敗を乗り越えられるように指導する。 ・作品を校内に展示し、多くの人に児童の思いを「つたえる」機会を作り、自分や友達の作品のよさに気付かせていく。
家庭	知日常生活に必要な基礎的な内容を理解し、活用する力。 思日常生活の中から問題を見出して、課題を解決する力。 主家族の一員として、生活をよりよくしようとする実践的な態度。	・児童の技能に合わせた課題を用意し、家庭と連携しながら日常生活でも実践させることで基礎的な知識や技能を定着させられるようにする。 ・観点を明確にして日常生活を振り返り、課題を見付け学習に取り組ませる。実践したことを評価したり、改善策を考えたりし、解決する場面を多く設定する。
体育	知特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解する力・基本的な動きや技能。 思運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決について思考し判断するとともに、他者に伝える力。 主運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指す態度。	・学習資料や掲示物を活用し、運動のポイントを分かりやすく提示する。 ・ICT機器を活用して、手本を見たり、自分の動きを確認したりすることで自己の課題に気付かせ、めあてを設定させる。 ・グループ学習を取り入れ、見合ったり、互いに教え合ったりして気付いたことを伝え合う時間を設定する。 ・児童の運動の様子をよく見て、児童の動きのよさだけでなく態度面など様々なよさを取り上げて全体で共有する。
外国語	知英語をコミュニケーションに活用する技能。 思英語で表現したり伝え合ったりする力。 主英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度。	・一人一人が自信をもって発言できるように、単語や文の練習方法を工夫し、繰り返し指導する。 ・身近で簡単な事柄について、具体的な課題、場面を設定し、目的を明確にした上で活動を行う。 ・一人一人が発言し、授業に主体的に取り組めるように、映像教材等を活用したり、授業形態を工夫したりする。
道徳科	知相手の立場に立った考え方や行動をしようとする道徳的心情。 思規範意識をもった道徳的判断力。 主自分を深く見つめ、自己肯定感をもち、自分を高めようとする道徳的实践意欲と態度。	・教材の登場人物への自我関与が中心の学習を行い、道徳的価値の理解を深める。 ・問題解決的な学習を取り入れ、児童が主体的に考え議論する場面を設定し、多面的、多角的な思考を促し、道徳的価値を実現させるための資質・能力を養う。
外国語活動	知日本語と外国語の音声の違いに気付く力。 思自分の考えや気持ちを外国語で伝え合う力。 主外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度。	・AETの発音や視聴覚教材の音声を繰り返し聞くことで音声の違いに気付かせる。 ・身近で簡単な話題を取り上げることで、おおよその内容を理解し、表現しやすくする。 ・様々なゲームや歌を通して、授業に主体的に取り組めるようにする。